

スタートアップ・エコシステム形成支援 採択プラットフォーム紹介

令和4年度開始～令和8年度終了予定

プラットフォーム名：（令和7年7月時点）
Peace & Science Innovation Ecosystem

参画機関

主幹機関：広島大学 共同機関：岡山大学、島根大学、愛媛大学、徳島大学、高知大学、香川大学、鳥取大学、広島市立大学、
歴史大学、県立広島大学、広島修道大学、安田女子大学、岡山理科大学、川崎医科大学、
周南公立大学、高知工科大学、山口東京理科大学

目指すスタートアップ・エコシステム 平和を希求する精神とともにイノベーションを創出するエコシステム(Peace & Science Innovation Ecosystem)を構築する。令和8年度末には、世界が抱える課題解決に貢献する「平和希求型・ベンチャー」総数300社(現状の3倍)、アントレプレナーシップ教育受講者数47,500人(現状の7倍、共同機関の学部生・大学院生の約50%)等を目指す。



(1)起業活動支援プログラムの運営

- ・自治体やVC・金融機関、民間企業等の学外機関との連携を深め、学内外の事業化支援プログラムやネットワークを積極的に活用して、研究者の起業活動を支援する。
- ・事業化に意欲がある研究者を支援する仕組みを整え、「大学発新産業創出基金スタートアップ・エコシステム共創プログラム」で実施するGAPファンドへ接続する。

(2)アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等

- ・「アントレプレナーシップ委員会」を定期開催し、人材育成プログラム及びファカルティディベロップメントに資する企画・運営を共同機関内で実施する。
- ・受講生のニーズ等を踏まえ、オンラインの活用、平和希求プログラム等の開放、地域実証フィールドを利用した解決型PBLノウハウの共有を行う。

(3)起業環境の整備

- ・必要な制度改正やルールを整備した上で、学生や研究者が、中四国全域での機器利用や起業環境の場を利用できる体制を構築する。

(4)拠点都市のエコシステムの形成・発展

- ・大学・産業界・自治体等との連携やネットワーク構築のもと、中四国地域全体がスタートアップを支援する国際的なエコシステム拠点として機能する状態とする。

活動成果

- ・高知工科大学および山口東京理科大学が新たに参画、中四国地域の大学連携ネットワークがさらに強化された。
- ・「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム」の会員数は、96機関(令和7年7月末現在)に拡大しており、持続可能なエコシステム形成のための産学官金連携強化が図かれている。